

事業所名		幼児グループわんぱく		支援プログラム		作成日	令和6	年	10	月	21	日
法人（事業所） 理念		ひとりひとりを大切に、決めつけないこと、共感すること、真剣に向き合うことを基本とし、以下の4つの視点で、事業を行います。 ● 仲間をつくる 子どもたちは、仲間を意識すること、集団の中で自分の役割を見出すこと、仲間とかかわりながら様々な体験をすることで、社会性を身につけていきます。わんぱくで、たくさんの信頼できる仲間、安心できる場所に出会うことで、誰もが自分自身の生活の主人公になれると考えています。 ● 遊びで育つ 子どもの内にあるやってみたい気持ちを丁寧に拾い、実現できるように道を作り、新しい遊びの種を育てます。このプロセスを通して、自分で考える、自分で決める、という大切な力を身につけて行きます。遊びは子ども達の成長を支える大切な時間です。わんぱくでたっぷりと遊ぶ時間を持って幸せな子ども時代を過ごし、それが人生を通して豊かに生きることにつながることを願っています。 ● 豊かに生きる 成人の余暇活動、生活支援、相談支援で、「遊び」「仲間」を通して育まれた力で、豊かな生活　を実現します。 ● 地域をつくる 私たちは、利用者だけでなく、スタッフ、保護者、かわる人たちがすべてが仲間となって、地域に仲間の輪を広げていくこと、そして、誰もが生き生きと笑顔で生活できる地域（社会、まち）を創ることを目指します。										
支援方針		●どんな障害があっても、豊かな幼児期を過ごせるようにする。 ●一人ひとりの発達や状況に合わせて子どもの成長を支援する。 ●「楽しい」「やってみたい」気持ちを大切に、子どもたちの言葉、コミュニケーション、対人関係、運動などの心身の発達を支援する。 ●子どもの直接的な支援だけでなく、保護者・家庭支援や関係機関との連携も行う。 ●住み慣れた地域で自分らしい生活を安心して送れるよう支援する。 ●「生活すること」「遊ぶこと」を軸として、生活経験に基づいて積み重ねていける療育を行う。（集団療育）										
サービス提供時間 営業時間		集団療育 月～金　10:00～14:30（保護者分離）		送迎実施の有無		なし						
個別指導 月～金　9:45～16:45（保護者同伴1枠45分）												
営業時間　平日9：15～17：00												
本人支援	【5領域】	【支援内容】										
	健康・生活	・子どもの健康状態を把握するため子どものサインを細やかに観察し、安心して生活を送ることができるようにします。 ・生活で使用する言葉を中心に理解、表出を支援します。 ・生活環境を整え、子どもに分かりやすい時間や空間の設定を行い、発達段階に合わせて食事、排せつ、身支度等の生活習慣の獲得を援助していきます。（集団療育）										
	運動・感覚	・適切に姿勢保持ができるように環境を整えます。 ・運動・感覚の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整や補助手段の活用等も行います。 ・運動・感覚の偏りから生じる行動面の問題に対して予防的な関わりをするとともに、適切な行動につながるよう支援します。 ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、子ども一人ひとりに合った遊具や教材、環境を選定します。 ・室内外問わず、体を使って遊ぶことができるよう環境を整えます。公園に行くなど積極的に外遊びを取り入れ、季節を感じられるように配慮しています。（集団療育）										
	認知・行動	・模倣が促されるよう、支援者が分かりやすく見本を提示します。 ・発達段階に合わせた内容とし、それぞれが活動に参加しようと思えるように配慮します。 ・数量、形の大きさ、重さ、色の違い、ひらがな等の習得を支援します。 ・視覚、聴覚を十分活用して、必要な情報を収集できるよう支援します。										
	言語・コミュニケーション	・絵カードや絵本、iPad、好きなおもちゃなどを使って、発語やコミュニケーションの発達を支援します。 ・視覚、聴覚等感覚を十分に活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援をします。 ・個々の特性に配慮し、指差し、身振り、サインなども用いて理解と表出が育まれるよう支援します。 ・数量、形の大きさ、重さ、色の違い、ひらがな等の習得を支援します。										
	人間関係・社会性	・支援者と親密な関係をつくり、周囲の人と安定した関係をつくる基盤を形成できるよう支援します。 ・集団の中で使用している言葉やサインを分かりやすく伝え、集団の場で使用できるように支援します。 ・日常的に朝の会、読み聞かせ、リズム、帰りの会等の集団活動を行います。（集団療育） ・一人遊びも保障しながら、友だちや支援者に関わる楽しさも味わえるよう、見立て遊びやごっこ遊び等の抽象遊びも取り入れます。（集団療育） ・子どもの発達段階に合わせて一人遊び・並行遊び、運動的遊び、ルールを守って遊ぶ共同遊びを展開し、社会性の発達を支援します。（集団療育）										
家族支援		・保護者面談を半年に一度設定し、療育での様子を伝えるとともに家庭や集団場面での様子や困りごとを聞き取り情報交換します。 ・月に一度保護者に支援場面の観察や参加等の機会を提供し、子どもの特性や特性を踏まえた関わり方に関して相談援助を行います。保護者からの要望があれば回数を増やします。 ・保護者同士、保護者とスタッフの交流が図れるよう、親子行事や、レクリエーションを計画します。 ・同法人内の他事業所保護者との交流の場も提供しています。集団療育の日常の様子は連絡帳や個人面談などで伝えます。				行事		・保護者向けの勉強会などのイベントを行います。 ・保護者参加または参観型の行事として、夕涼み会、クリスマス会、さようならパーティ（卒園式）を行っています。（集団療育） ・その他ハロウィン、節分などの季節に合わせた行事を行います。（集団療育） ・子ども一人ひとりの誕生日会を行っています。 ・季節に合わせた制作活動を行います。				
地域支援・地域連携		・利用者の支援体制の構築を図るため必要に応じて療育施設、幼稚園、保育園等の子育て支援機関との連携を実施します。 ・利用者が地域社会に参加しやすい環境を整えるため、必要に応じて関係機関への支援や連携を行います。				職員の質の向上		・毎日、保育後に振り返りミーティングを行い、子どもの様子や活動の課題、ヒヤリハットなどをスタッフ全体で共有する機会を大事にしています。個別のケースを取り上げて、理解を深めることもあります。 ・外部の講習会や研修会を案内しています。正職員は、権利擁護研修や強度行動障害支援者養成研修なども受講しています。				